

注 意 事 項

- 1 本競技会の競技規則は2026年日本陸上競技連盟競技規則を適用し、併せて、友の会ルール（別紙参照）を準用する。
- 2 招集については、以下のように、各々の競技場で行う。
 - ・ 競技場東門を入った右側の招集所で、競技開始30分前から20分前とする。
- 3 本大会におけるリレーのオーダー用紙の提出は、各リレーの招集完了時刻の40分前までとする。
- 4 競技場は全天候舗装なので、9mm以下のスパイクピンを使用すること。
- 5 1000mを除くトラック競技の腰ナンバーカードは使用しない。各自レーンを間違えずに走ること。
- 6 トラック競技は、すべてタイムレース決勝とする。
- 7 スタートについては、不正スタート一回失格の適用対象外の競技会とし、併せて、友の会ルールを準用するが、スタートの合図は英語とする。（「On your marks」, 「Set」）
- 8 トラック競技はクラウチング・スタートとする。（スターティング・ブロックを使わないこともできる。）
但し、3年生以下の50mは、スタンディングスタートとする。

- 9 ハードル競技は、以下の規格とする。

	距離	高さ	個数	スタート～1台目	ハードル間	10台目～フィニッシュ
5年・6年	8.0m	0.70m	9台	13.00m	7.00m	11.00m
4年	8.0m	0.60m	9台	13.00m	7.00m	11.00m

- 10 フィールド種目の試技回数は以下のとおりとする。

- (1) 走高跳は、一つの高さの試技を2回とする。
- (2) 走幅跳とジャベリックボール投は、試技を2回とし、トップ8は行わない。

- 11 走高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。但し、天候等による変更も考慮する。

< 男・女 >

4年生	=	(練習 0.80)	0.85	0.90	0.95	1.00	1.05	1.10	・	・	・	・	・
5年生	=	(練習 0.90)	0.95	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	以降	3cm	ずつ
6年生	=	(練習 0.90)	0.95	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	以降	3cm	ずつ

- 12 競技中の選手への声掛けは、いかなる場合も助力とみなされるため、失格となる恐れがある。よって、試技中、あるいは試技前後の声掛けは禁止とする。
- 13 ジャベリックボール投の試技の際は、ボール本体を持ち、オーバーヘッドスローで投げることを。羽根だけを持って投げることは禁止する。なお、ジャベリックボール投の助走距離は、15m以内とする。
ジャベリックボール投げのサイズ基準は以下の通りとする。
3年生以下=78×288mm(青・白)、4年生以上=87×320mm(赤・白)。

- 14 表彰および記録掲示等について

- (1) 各種目8位まで表彰とするが、賞状については競技終了後30分後を目処に本部にて代表者に渡す。
- (2) 各種目の記録はアナウンスで通告し、掲示は行わない。記録については、速報サイトにて随時公開する。

- 15 競技場に到着した際の受付について

- (1) 競技場への選手の入場については、東門入口でアスリートビブス（ナンバーカード）を提示する。
- (2) スタンドへの選手・コーチ・保護者の入場については受付を行わず、出入り自由とする。
- (3) フィールド種目についてコーチエリアを設置する。コーチエリアでの指導を希望する場合には、朝のチーム受付の際に申請し、専用のIDカードを受け取るようにする（要返却）。走幅跳については、スタンド最前列通路、走高跳・ジャベリックボールについては、各ピット後方付近にコーチエリアを設置する。

1.6 競技場使用上の注意点

※ 参加者・付き添い者等の駐車場入場は、午前7時00分です。厳守してください。

- ※ スタンド開門時刻も、午前7時00分です。 厳守してください。
- ※ 東門の開門時刻については、午前7時30分とします。 厳守してください。
- ※ 競技場横駐車場は競技役員専用とします。なお、午前9時を目途に一般にも開放とします。

- (1) 正面スタンドは来場者全体に開放する。
- (2) 競技場開門後、朝のウォームアップについては、午前8時45分まで、トラック、フィールドとも使用を認める。その際、指導者等の入場を認め、児童の指導を許可する。
- (3) 競技開始後は、競技およびウォームアップ、クールダウンの際は、正面スタンド東側の「東門」からグラウンドに出入りする。(その際、競技者以外の入場は認めない。コーチ及び引率者はフェンスの外側から指導をすること。)
- (4) スタンド内外での移動の際には、急いだり走ったりしないこと。なお、その際に生じた怪我等については、主催者は責任を追わない。
- (5) 競技場周りのフェンス沿いについては、テントの設営も可とする。ただし、クギ・ペグ等は用いず、重石等を利用のこと。(別図参照のこと。)

(6) **スタンドで観覧する際には、手すりに立っての観戦は控え、座席にて観覧すること。**

- (7) トラック種目のスタート時には、静かにすること。
- (8) 競技等でグラウンドに向かうときは、各自の荷物が混同しないように、自分の荷物を入れる袋(少し大きめのビニール袋等)を持って行くこと。(シューズなどを無くしたり、取り違えたりしないため。)
- (9) ウォームアップ等を行う時、「バックストレート・エリアの第5レーンから外側のトラックの利用」を原則とし、逆走はしないこと。そして、その場合には当該審判の指示に従うこと。
- (10) オールウェザートラックは高温となるので、裸足では競技をしない。なお、体調の管理には、水分補給等をして、健康に十分注意をすること。(熱中症等には十分気を付けること。)
- (11) 正面スタンド本部前には、特段の用事(オーダー用紙提出等)以外は、競技関係者(競技者及び審判等)以外は立ち入らないこと。
- (12) 競技中に生じたケガ等について、応急処置はするが、以後の責任は負わない。
- (13) 競技出場者は競技の進行に協力し、競技役員の指示に従うこと。
- (14) 競技場のトイレについては、正面スタンド1階及び公園内のトイレを使用し、ルールを守ること。なお、競技中等の場合は、審判に申し出て、メインスタンド下のトイレを使用すること。
※ また、競技場外の公園トイレを利用するときは、他の公園来園者にも配慮すること。
- (15) ゴミ等は、必ず各自で持ち帰ること。

1.7 本競技会は、競技者の人権に配慮するため、カメラ等での撮影は基本的に認めない。撮影を希望する場合は、大会本部に申し出て許可を得ること。

1.8 迷惑行為については、その行動を「著しい他者への迷惑行為」と主催者が判断した場合、速やかに警察および関係機関に通報する。